

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ & 6thQ	2年	1単位	必修
担当教員			
富場 康			

講義概要	基本的に演習形式で行う。授業では、学生の興味ある課題への取り組みや発表及び短期大学での学びの導入並びに教養を身につけるために、日本語で聞く・話すトレーニングを行う。留学生の語学力を向上させるために、各形式で授業を進めていく。
授業計画	<p>1 オリエンテーション 学習課題 復習：履修の手引き 予習：講義概要を読むこと ① 総合ゼミについて ② 履修届下書きチェック ③ 授業の受講態度、遅刻欠席について ④ 卒業要件について</p> <p>2 文献の講読・要約方法 学習課題 復習：文献の要約方法 予習：レポートの書き方について調べる。 ① レポートの書き方 ② 引用の仕方と著作権 ③ レポートの作成</p> <p>3 レポートの書き方① 学習課題 復習：文献の要約方法 予習：レポートの書き方について調べる。 ① レポートの書き方 ② 引用の仕方と著作権 ③ レポートの作成</p> <p>4 レポートの書き方② 学習課題 復習：レポートの書き方 予習：書き言葉と話し言葉 ① 書き言葉と話し言葉の区別 ② 提出レポートの確認と指導 ③ 未習熟な部分を補完する</p> <p>5 プレゼンテーション 学習課題 復習：レポートの書き方 予習：プレゼンテーションについて調べる ① プレゼンテーションの口頭発表の技法を学ぶ ② DVDを視聴し具体的な方法を学ぶ</p> <p>6 三分間スピーチ 学習課題 復習：プレゼンテーション 予習：スピーチの内容について調べる ① スピーチの原稿作成 ② 発表の技法を学ぶ</p> <p>7 スピーチの実践 学習課題 復習：スピーチの技法 予習：質疑応答について調べる ① 3分間スピーチで発表する ② 質疑応答</p> <p>8 新聞記事の要約と発表① 学習課題 復習：スピーチの技法 予習：発表に備える準備をする ① 新聞記事や社説などを要約する ② 発表を行う</p> <p>9 新聞記事の要約と解説② 学習課題 復習：スピーチの技法 予習：発表に備える準備をする ① 新聞記事や社説などを要約する ② 発表を行う</p> <p>10 新聞記事の要約と発表③ 学習課題 復習：スピーチの技法 予習：発表に備える準備をする ① 新聞記事や社説などを要約する ② 発表を行う</p> <p>11 グループ別学習① 学習課題 復習：発表の技法 予習：学習内容に関する資料を読む ① グループに分けて、興味ある内容を設定する ② 資料収集 ③ レポート作成 ④ プレゼンテーションと質疑応答</p> <p>12 グループ別学習②</p>

	<p>学習課題 復習：発表の技法 予習：学習内容に関する資料を読む</p> <p>① グループに分けて、興味ある内容を設定する ② 資料収集 ③ レポート作成 ④ プレゼンテーションと質疑応答</p> <p>1 3 グループ別学習③</p> <p>学習課題 復習：発表の技法 予習：学習内容に関する資料を読む</p> <p>① グループに分けて、興味ある内容を設定する ② 資料収集 ③ レポート作成 ④ プレゼンテーションと質疑応答</p> <p>1 4 グループ別学習④</p> <p>学習課題 復習：発表の技法 予習：学習内容に関する資料を読む</p> <p>① グループに分けて、興味ある内容を設定する ② 資料収集 ③ レポート作成 ④ プレゼンテーションと質疑応答</p> <p>1 5 総括</p> <p>学習課題 復習：前期の学習内容 予習：意見交換に備える準備をする</p> <p>① 前期の総合ゼミで各自が学んだことをもとに意見交換する ② 学んだことを後期の総合ゼミに生かす</p>
授業形態	演習
到達目標	<p>① 短期大学の過ごし方について理解できる。 ② 日本の新聞記事を理解できる。 ③ 自分の意見をまとめてレポートを作成することができる。 ④ 簡単なプレゼンテーションとスピーチができる。 ⑤ 日本語で質疑応答ができる。</p>
評価方法	授業中の受講態度などを観察することにより評価する。また、レポート、発表、提出した課題の内容を評価する。
評価基準	授業態度及び参加度 30%、レポート30%、発表 40%。
教科書・参考書	テキスト：特に指定しない。 参考書：授業内容に合わせて別途指示する。
履修条件	
履修上の注意	出された課題に積極的に取り組み完成させること。
オフィスアワー	授業以外の時間(9時～17時までの間) ならいつでも気軽に訪ねてきてください。
備考・メッセージ	